

香港の人権抑圧 日本共産党が強く抗議

日本政府は中国政府に弾圧中止を求めよ

香港で民主活動家の周庭氏や中国への批判的な論調で知られる香港紙「リング日報」創刊者の黎智栄氏が8月10日逮捕されました（翌日釈放）。日本共産党の志位和夫委員長はツイッターで直ちに強く抗議、弾圧の中止を求めました。

日本政府は「重大な懸念」の表明にとどまっています。日本政府は、中国政府に抗議し、弾圧の中止を求めるべきです。

イギリスの植民地だった香港の中国への返還にあたり、中国は香港に高度の自治を与える「1国2制度」を国際的に公約しました。ところが両氏の逮捕容疑の口実とされている香港国家安全維持法は香港の議会である立法会でも審議されておらず、中国政府が一方向的に押し付けたものです。中国は「内政問題」としていますが、日本共産党は、人権問題は国際問題であるとの立場からたびたび態度を表明し、弾圧の即時中止と同法の撤回、廃止を求めています。

日本共産党は、今年1月の第28回党大会で中国の大国主義・覇権主義を強く批判し、中国についての「社会主義をめざす新しい探求が開始された」という党綱領での規定を削除しました。

8月12日、「香港の自由と民主主義のために日本政府の対応を求める緊急集会」が国会正門前で取り組まれ、各地で「香港の自由を守れ」とスタンディングなどが取り組まれました。



「香港の自由を守れ」と声をあげる人たち
8月13日付「赤旗」より

その「杉戸駅」というのは、現在の東武動物公園駅のことで、現「杉戸駅」は1899年に開設されましたが、今から39年前の1981年に、東武動物公園の開園に伴い東武動物公園駅に改称されたのです。杉戸町には1986年に杉戸高野台駅が開設されるまでは、鉄道駅はなかったのです。



大正初期の杉戸駅

はないでしょうか。



杉戸町に隣接する宮代町に、「杉戸駅」という名の鉄道駅が、かつてあったことを憶えている青年は、あまりいないので

杉戸町の玄関口である東武動物公園駅東口には「昭和レトロ杉戸物語」というアンティークショップがあり、駅周辺（宮代町内）には既に廃業してしまいましたが「杉戸会館」というパチンコ店（創業当時は映画館）も残っています。宮代町内にも面影を残している杉戸町ですが、75年前の7月には米軍機の空襲によって、杉戸高等家政女学校の教員・生徒8名が死亡するという悲劇も経験。役場敷地内には、亡くなった生徒らの慰霊碑が建てられています。



戦没者慰霊碑

杉戸町では、戦後50周年にあたる1995年8月に、「不戦の誓い」と「核兵器の完全廃絶」を謳った杉戸町平和都市宣言が制定されました。毎年8月には、町主催で平和企画展も開かれています。

（杉戸町在住 森山哲夫）

2020年9月／部内資料

あなたと日本共産党をつなぐ かけはし



ワイ・ムード（青年の気持ち）



7月7日 東武動物公園駅西口で行われたフードパントリープロジェクト



コロナ感染拡大、どうする？ 日本共産党の緊急提案

日本共産党東部北地区委員会 青年後援会
〒346-0012 久喜市栗原 333-1 ☎0480-22-9296

共産党 東部北 検索
<http://jcptoubukita.blog.shinobi.jp/>



No.18

感染震源地の (エピセンター) 徹底検査を



西村経済再生担当相(右)に申し入れる志位和夫委員長(中央)と田村智子政策委員長＝28日、内閣府(「写真」しんぶん赤旗)

志位氏は、感染が持続的に集積する「感染震源地」(エピセンター)を明確にし、その地域の住民、事務所に勤めている方の全体を対象に、網羅的な検査を実施し、「感染力」のある人を見つけだして隔離・保護する取り組みをおこなうことを提案しています。

申し入れ後の記者会見で志位氏は、「再度の緊急事態宣言は回避しなければならないし、そのためには検査の抜本的拡充しかない」と強調。臨時国会を直ちに開き、今の感染拡大をどうやって抑止して、安全・安心な社会をつくっていくのか、徹底的かつ建設的な議論が必要であると語りました。

日本共産党の志位和夫委員長は28日、安倍晋三首相に対し、新型コロナウイルス感染症の急拡大を抑止するためにPCR等検査を大規模に拡充することなどを求める緊急の申し入れを行いました。志位氏が西村康稔経済再生担当相と会談し、首相への申し入れの内容を伝えました。

申し入れの骨子

- ①感染震源地を明確にし、その地域の住民、事業所の在勤者の全体に対してPCR等検査を実施すること
- ②地域ごとの感染状況の情報を住民に開示すること
- ③医療機関、介護施設、福祉施設、保育園・幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員等への定期的なPCR等検査を行うこと
- ④検査によって明らかになった陽性者を隔離・保護・治療する体制を、緊急につくりあげること

記者会見
の動画



全文・
資料



「徹底検査」、「情報公開」の声と運動を!!

東部北地域 第2回 フードパントリープロジェクト (食料支援)

「コロナでアルバイトが減って生活が大変」など、青年・学生の困窮を少しでも救おうと県内あちこちの民青同盟と応援団で、フードパントリープロジェクトが取り組まれています。

東部北地域の民青同盟湯けむり班を中心に7月7日、第1回の食料配布が東武動物公園駅西口でおこなわれ、カンパで提供していただいたお米やレトルト食品、野菜セットなど60袋が1時間ほどでなくなり、35名の方がアンケートにもこたえてくれました。

第2回目を下記の通り行います。

と き **9月24日(木)** 午後4時～5時
ところ **東武動物公園駅西口**

問い合わせ 090-7230-9239(柳澤)
0480-22-9296(東部北地区委員会)



★ お米、缶詰、レトルト食品、根菜などの食材カンパ大募集
★ 当日お手伝いしていただけるボランティアも大募集

第4回 春日部青年の集い

環境破壊と地球温暖化について考える青年交流会

地球の未来を考えよう

と き **9月13日(日)** 午後2時～4時
ところ **春日部市民文化会館 中会議室(2)**

講 師 **吉村 文則 さん**
埼玉自然エネルギー協会理事長

東京大学理学部卒
2013年にNPO法人埼玉自然エネルギー協会を設立

主 催 日本共産党春日部市委員会
春日部市中央 7-10-9 Tel 048-736-9933

問い合わせ 090-2172-2181 (市議会議員 うづき武彦)
peace-uduki@kpb.biglobe.ne.jp

